



## 新春もちつき会

新春恒例のもちつき会を、寿地区の方のご協力のもと、1月9日（木）に行いました。当日は晴天に恵まれ「よいしょ！」の掛け声とともに、なかまが、重いきねを持ち上げ、お餅をつきあげました。お昼には、つくたてお餅の格別のおいしさを味わいました。



寿地区福祉ひろばのコーディネーターさんは、「地域の一員として暮らしていきたい」という私たちの願いをご理解下さり、地域の方々と繋いでくださるために、いつもご尽力くださっています。今までの交流を通しての感想などをお伺いしました。仲間たちも交流会をととても楽しみにしています。これからもよろしくお願いたします。



左から  
井戸さん  
山内さん  
右田さん

### Q1 年間の交流を通して、印象に残ったこと。

- ・ 共幸講座を一連の流れで関わり学べたこと、それが福祉の文化祭へとつながったこと。お母様の手紙を代読いただき、真の気持ちが伺え、心に響き目頭が熱くなりました。一日の生活の様子も聞かせていただいたことで、とても身近に感じられ声をかけやすくなりました。
- ・ ヒンメリづくりの講師を務めていただいたとき、彼女たちは輝いていました。次回の目標、心構えまで話していただけたことは、とても嬉しくて継続していきたいと感じました。
- ・ お餅つきや門松づくりの時など、ひろばでの交流時と違う表情が見られてよかったです。

### Q2 寿小学校やひろばのみなさんとの交流計画の中で、いつも大切に下さっていること。

「普通とちょっと違うことがあって当たり前！」 「怖くないヨ！」

「うれしいこと、悲しいことは いっしょだね！」

もっともっと 知ってもらいたい、もっともっと感じてもらいたい！！

### Q3 コムハウス・ねくすととの交流で、こんなことができたらいいなと感じていること。

- ・ 共幸講座で話していただいた生活を、もっと地域の方や小学校の子どもたちにも聞いてもらいたい。
- ・ 折り紙やカラオケ、お手玉や体操などにも参加してもらいたい。
- ・ 特別な仕掛けをしなくとも、関わりあえる地域でありたいし、ひろばでありたい。
- ・ 車いすを押しながら、ひろばや公民館の周りを散歩してみたい。

### Q4 コムハウス・ねくすが「こうであつたらいいな」「こうなつてほしいな」など、期待すること。

- ・ 地域で出会ったとき、ためらわずに声を掛け合えるようになりたい。
- ・ 顔と名前を覚えるくらい仲良くなりたい。また、そう思っている人を増やしていきたい。
- ・ 福祉のこと、暮らしやすい街づくりのことを一緒に考えていけたらいいなと強く思います。ひろばの職員3人はコムハウスのファンです。なんでも話し合える仲になりたいです。
- ・ みんな違ってみんないい！  
それぞれが輝ける、支えあいながら共に輝ける地域づくりを目指しましょう！